

キバナノアマナ

花の季節になりました。一番咲きを競いあうセツブンソウとユキワリイチゲは、もうご覧になりましたか。さてその次に控えしは、ということで、今回はキバナノアマナにご登場願いました。



この花、たいていセツブンソウのそばに住んでいます。セツブンソウの花がくたびれかけた頃に咲き始めます。黄色で目立ちそうですが、とても見つけにくい花です。理由の一つは、花が小さいこと。一輪咲きが多い春植物のなかではめずらしく複数の花をつけますが、右の写真のように景気が良いのは例外的で、ほとんどは2～3輪がせいぜいです。

見つけにくい理由は他にもあります。いったん咲いても閉じることです。毎晩りちぎに閉じているかどうかは確かめていませんが、開花を確かめた翌日が寒ければ、同じ場所で探し出せる花はしっかり閉じていて、緑のつぼみのような姿です。

そして、見つけにくい一番の理由は、花をつける株が少ないということです。開花株を一つ見つけたら、その周りには葉だけの株が百株以上あるのが普通です。カタクリが種子の発芽から開花までに7～8年かかるという話は有名ですが、ひょっとしたら、こちらはその何倍もかかっているのかもしれない。